

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

令和元年11月29日

嶮山小通信

12月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

「子どもたちのために」

校長 山口 昭代

あざみ野駅からすすき野1丁目までのバス通りは、沿道の美しい紅葉に彩られて、短い秋を楽しませてくれています。

ここのところ、冒頭に書いた「子どもたちのために」という言葉を直接聞かせていただく機会がとても多くありました。ある時は大人数の場のご挨拶の中で、ある時は校長室や保健相談室でのお話の中で、あるいは、廊下での立ち話の中や時には校外で。

11月は、子どもたちが様々な人たちと関わる機会が数多くありましたので、当然のこととして私たち教職員も、嶮山小学校を支援して下さる方々との事前事後の打ち合わせや振り返りの場に参加させていただくことが増えました。共通の話題も多くなりました。その時に、ごくごく自然と発せられる「子どもたちのために」という言葉。いつ触れても、この言葉にはありとあらゆる教育活動の原点を感じておりました。

○すすき野中ブロック学校運営協議会では、中西会長をはじめとする委員のみなさま方から。

○「KENZAN40」(創立40周年記念実行委員会)では、大詰めの記念誌作成において、実行委員長の岡村さん、記念誌担当の伊藤さん、関さんから。

○「WAIWAI フェスタ」の準備を進められている東PTA会長から。

○「フレンド君の会」の桐井会長からは、学校教育支援活動のすべての場面でいつもいつも!

○地域清掃、4公園の地域代表の菊池さん、川嶋さん、佐々木さん、山下さんから。

○昔遊びや縄なえ等で、きめ細やかなコーディネートをして下さる名嘉さんから。

○きれいで丈夫な歯を指導し続けてくださっている学校歯科医の吉村先生からも。

○日体大 FIELDS 横浜チームの誘致を嶮山小にもたらし下さった前すすき野郵便局長の金子さん。

○昨年に引き続き、ザンビア共和国の駐日大使や子どもたちとの間に立って通訳をして下さった JOCA の内藤さん。

○<スパイス(香辛料)ガールズ>に扮して「すこやかテレビ(健康&食&読書)」に連続出演した学校司書の小塚先生と栄養職員の大橋先生。

○そして様々な場面で尽力して下さった保護者、ボランティア、地域のみなさま方も、必ずや子どもたちのためにという同様の思いをもってくださっていると感じています。

たくさんの方々の、嶮山小児童へのあたたかい、思いやりいっぱいの気持ちが「子どもたちのために」の言葉の中にぎっしり込められて、丁寧で質の高い支援の実際を作り出してくださっていることは、本当に有難く嬉しいことです。

「嶮山あったかハーモニー」の「あったか」の源流はここにあるのだと思います。このまちで、いつも誰かが誰かのために、知恵や力や親切や優しさを差し出してくださり、一緒にしあわせな時を紡いでいくための努力のお姿を示して下さる。自分も他の人も、ともに大切に暮らしていくのだという、嶮山小学校を大事にして下さる方たちから醸し出される風土は、まさに日々の生きた人権教育、道徳教育、そして健康教育の実現なのだと感じています。

12月4日~10日は世界人権週間です。「えがく自分」「えがく夢」のイメージを膨らませて、子どもたちが具体的な姿で自己や夢を語れるように支援したいと思っています。

今年も大変お世話になり、ありがとうございました。今後とも嶮山小学校をよろしく願い申し上げます。

